

**京都大学教育研究振興財団助成事業  
成 果 報 告 書**

平成23年 2月 1日

財団法人京都大学教育研究振興財団  
会 長 辻 井 昭 雄 様

京 都 大 学 総 長

松 本 紘

事業区分	平成 22 年度・大学全体計画事業助成		
事業名	大学間学术交流協定校との交流事業		
成果の概要	タイトルは「成果の概要 / 報告者名」として、A4版2000字程度・和文で作成し、添付して下さい。「成果の概要」以外に添付する資料 無 有( )		
会 計 報 告	事業に要した経費総額	2,030,816 円	
	うち当財団からの助成額	340,816 円	
	その他の資金の出所	(機関や資金の名称) ストラスブール大学	
	経費の内訳と助成金の用途について		
	費 目	金 額 (円)	財団助成充当額 (円)
	招へい研究者渡航費	160,816	160,816
	招へい研究者滞在費	180,000	180,000
	派遣研究者渡航費・滞在費	1,690,000	0
	合 計	2,030,816	340,816

## 成 果 の 概 要

京都大学総長 松本 紘

### 【大学間学術交流協定校との交流事業】

本学では、海外29カ国83大学3大学群と大学間学術交流協定を、また、380余りの機関と部局間学術交流協定を締結し、学術交流の進展を計っているところです。

その中で、ストラスブール大学（旧ルイ・パスツール大学）とは平成3年から、研究者の相互交流を行っております。

今年度は派遣2名、招へい1名の実績がありました。このうち招へい研究者について、当初の実施計画ではストラスブール大学より2名の研究者を招へいする予定でしたが、ストラスブール大学の都合により、本学への招へい者は1名のみとなりました。

貴財団の助成により本学へ招へいした研究者は、ストラスブール大学社会科学・応用科学部門研究センター長のロジェ・ソメ教授で、地域研究統合情報センターの小森宏美准教授を受入教員として、平成22年10月20日～11月7日の間、「グローバル化の中での文化接触・文化変容についての研究」をテーマに研究活動されました。ソメ教授の滞在中は、学内外の研究会やシンポジウムに参加され、日本のヨーロッパ地域研究者と活発に意見交換をされました。

ソメ氏が所属するストラスブール大学社会科学・応用科学部門研究センターは、ストラスブール大学社会科学部の各専門分野（人口統計学、民族学、人類学、社会学）の研究者によって設立され、学際的な共同研究の実施を研究活動の柱の一つとしています。同氏の受入れは、同じく学問分野を越えて地域に関する総合的な知の形成を目的とする地域研究統合情報センターにとって、ヨーロッパの最新の地域研究についての知見を得ることができ、また方法論に関する議論などの点で特に成果がありました。

さらに、多文化共生ならびに移民政策について、日本の中で、近年とりわけ着目されているテーマのひとつであり、多様な新たな研究交流および共同研究の場が次々と設定されているが、こうした日本の研究状況について、当該研究テーマについて先行研究の多いフランスとの比較という視点で直接認識を深めてもらうことができたことは、ソメ氏、日本の研究者の双方にとって有益でありました。

今年度は招へい者は1名となりましたが、当交流事業を通じて、レベルの高い学術交流ならびに実りのある人的交流を行なうことが出来ました。なお、本学からの派遣者については、ストラスブール大学による経費負担となっています。

今後も引き続き、これまで培ってきた人的ネットワークをベースとして、活発な学術交流を推進していく所存です。当事業を実施するにあたり、貴財団より多額の援助をいただきましたことに対し、深く感謝しますとともに、篤くお礼申し上げます。